

国の税制改正により、固定資産税の「住宅用地」の負担調整措置が縮小・廃止されます。

- 今回は、住宅用地にかかる固定資産税の「課税標準額」の算定についてお知らせします。実際に納めていただく固定資産税額は、家屋にかかるもの等と合算したものです。このページは「住宅用地」に限ったお知らせで、住居が建っていない単なる「宅地」や、「農地」等の固定資産税の算定とは異なります。

【問】市役所税務課(固定資産係) 0978-62-3131

住宅用地の固定資産税額＝課税標準額×1.4%(税率)

税率や算定方法に変更はありません

●用語の解説/住宅用地の固定資産税額の決定方法

課税標準額	通常は、課税対象となる、その固定資産の評価額(価格)のこと。
住宅用地の課税標準額	住宅用地の場合は、【固定資産(土地)の評価額】×【住宅用地の特例率】で算出します。
住宅用地の特例率	住宅用地にかかる固定資産税の軽減を目的とした措置で、特例率は、200㎡以下の部分が6分の1、それを超える部分は3分の1となります。

※たとえば、150㎡(評価額300万円)の住宅用地の場合、課税標準額は300万円×1/6＝50万円、年間の固定資産税額は50万円×1.4%＝7,000円となります。

住宅用地の課税標準額が、本来の課税標準額(今年度評価額×住宅用地の特例率)に達していない土地については、税額の急な増加を抑えるため、負担水準に応じた負担調整措置が適用されます。

平成23年度までの負担調整措置

住宅用地の負担調整措置については、負担水準80%以上100%以下の住宅用地の課税標準額を、前年度課税標準額に据え置く措置が適用されていましたが、税制改正により、平成26年度までに段階的に廃止されます。

負担水準	$\frac{\text{前年度の課税標準額}}{\text{本来の課税標準額}} \times 100(\%)$
------	---

※本来の課税標準額＝【今年度評価額】×【住宅用地の特例率】

平成24・25年度までの負担調整措置

- ①負担水準が90%以上、100%以下の場合→前年度の課税標準額と同額に据え置きます。
- ②負担水準が90%未満の場合→前年度の課税標準額＋(本来の課税標準額×5%)
 ※②により計算した額が本来の課税標準額の90%を上回る場合→【本来の課税標準額】×90%
 ※②により計算した額が本来の課税標準額の20%を下回る場合→【本来の課税標準額】×20%

平成26年度以降について

上記①は、平成24・25年度に限った経過措置であり、平成26年度から据え置きはなくなります。

6月スタート！平成24年度図書館事業受講生募集／5月25日(金)締切

(6月～来年3月まで)

親子読書講座／講師・平田はつみ先生／会費は月500円程度(本代別)

▼読書を通じ、多くの仲間と語り合い、感動を分かち合い、生きること、育てることを学びます。また、子どもの本の読み方、与え方等を学びます。開催は月1回とし、曜日・時間は各講座で異なります。

【各講座名】・杵築親子読書(第4月曜日)・東親子読書(第4金曜日)・八坂親子読書(第4木曜日)・溝井親子読書(第3火曜日)・豊洋親子読書(第2金曜日)

おはなしくらぶ／指導・おはなしくらぶボランティアの会／会費無料

▼主に、3歳児から就学前の親子を対象に絵本の読み聞かせや、ゲーム、折り紙、紙芝居等を楽しみ、豊かな心を育みます。毎月1回：第3土曜日の午前10時30分～、市立図書館で開催します。(会員登録が必要です)

古典文学講座／講師・田邊勲先生／年会費2,000円(テキスト代はあらかじめ図書館にお問い合わせください)

▼日本文化遺産として、昔から今日まで語り継がれている古典の名著の中から、本年度は「徒然草」を学びます。毎月1回：第4日曜日の午後1時30分～、市立図書館で開催します。

お母さん読書研究会／指導・平田はつみ先生

▼児童文学について、ちょっと高度な立場で専門的に、特に書くことを中心に学びます。また市報の「花のメルヘン」を執筆担当しています。毎月1回：第2水曜日の午後7時30分～、きつき生涯学習館で開催します。

おはなし会／指導・図書館職員と図書館ボランティア／会費無料

▼幼児から小学生までならどなたでもO.K.！事前の申込みは必要ありません。毎月第1火曜日と第1土曜日の午前10時30分～、市立図書館で開催します。※読み聞かせをしてくださるボランティアも募集しています！

【お申込み方法】電話、ファックス、ハガキにより、講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、お申込みください。
〒873-0001 杵築市大字杵築1-1 杵築市立図書館／TEL0978-62-4362／FAX0978-62-3401

今月の特集 5月といえば・・・こどもの日！毎年恒例「子どもの本の特集」

お母さんやお父さんが小さいときに読んでいた本。最近発売された話題の本などなど。子どもたちに読んでほしい本を集めました！

●「人生って、なに？」オスカー・ブルニフィエ(朝日出版社)／●「真夏のオリオン」福井晴敏・文、網中いづる・絵(講談社)ほか。

話題の新刊から役立つ文献まで！

図書館だより

[平成24年5月]

杵築市立図書館 TEL0978-62-4362
山香図書室 TEL0977-75-1055
大田図書室 TEL0978-52-3111
[市立図書館公式サイト]
<http://www.ideastore-kitsuki.com/>
[市立図書館携帯サイト]
<http://www.library.city.kitsuki.lg.jp/m>



『ふろしきで遊ぼう 1枚の布で包む・結ぶ・折る <染め>もあるよ』

横山功著・いかだ出版

▼結び方をかえるだけで、1枚の布がかわいいうちのうさぎのキモチがわかる本(学研パブリッシング)(大田図書室) ●「発達障害を持つ子どものサインがわかる本」塩川宏郷(主婦の友社) ●「日本史1200人」入澤宣幸(西東社) ●「いつものキッチン道具でつくるかわい

い和菓子」金塚晴子(扶桑社) ●「トッピングごはん実践B O O K」阿部佐智子(芸文社) ●「孔子」竹川弘太郎(海竜社) ●「はか多数。



今月の新着本(●は児童書)

【杵築図書館】 ●「かすてい」さだまさし(小学館) ●「田中慎弥の掌劇場」田中慎弥(毎日新聞社) ●「10歳からの英語お母さんの出番です」川崎美恵(さくら舎) ●「怪盗レッド6」秋木真角川書店 ●「けんかにかんぱい」宮川ひろ(童心社) ●「日本はじめて図鑑」田中裕二(ポプラ社) ●「はまべにはいしがいっぱい」レオ・レオニ(好学社) ●「ころわんどつきどき」問所ひさこ(ひさかたチャイルド) ●「山香図書室」 ●「10歳まで病気知らずでいたければ「発酵食」を食べなさい」白澤卓二(河出書房新社) ●「わくわくほっこり和菓子図鑑」君野倫子(二見書房) ●「ポイントカード整理術」櫻井雅英(USE) ●「うちのうさぎのキモチがわかる本」(学研パブリッシング)(大田図書室) ●「発達障害を持つ子どものサインがわかる本」塩川宏郷(主婦の友社) ●「日本史1200人」入澤宣幸(西東社) ●「いつものキッチン道具でつくるかわい